

# 徳島県立 城ノ内中等教育学校

School guide  
2021





# 教育方針

## 高い志をもって 社会の平和と発展に 貢献できる人材の育成

徳島県立城ノ内中等教育学校は、6年間の計画的・継続的な教育を展開することで、生徒たちの自主性や協調性を育てていながら個性や創造性を最大限伸ばしていきます。

### めざす生徒像

#### 人間性

社会貢献の自覚をもち、  
仲間と共に学び合い、  
向上していく人間性豊かな生徒



#### 国際性

多様な文化・価値観を尊重し、  
自己の考えや意思を表現できる  
国際性豊かな生徒



#### 創造性

科学技術に関心をもち、  
主体的に考え、  
追究することができる  
創造性豊かな生徒



Let's make our dreams come true at Johnouchi !! (城ノ内で夢をかなえよう)

# めざす学校像

- 世界に通じるグローバル人材の育成
- 進学面において本県中等教育を牽引する学校づくり

その実現のため、私たちは次の5つを学校の特色としています。

- 学力向上はもとより、県内全域から集まる仲間と共に、多彩な学校行事や部活動等を通して、豊かな人間性、国際性、創造性を育みます。
- 難関大学・学部をはじめ、希望する進路に適した教育課程の編成や、将来を考える「未来を拓く講演会」の開催など、一人ひとりの夢の実現をサポートします。
- うっちな体験塾やゴルフ研修など本校独自の体験的活動、また「エシカル消費」の取り組みを推進し、協働の精神と社会に貢献する意欲や態度を養います。
- 海外語学研修や国内外の中高一貫教育校との交流を通して、高いコミュニケーション能力を持ち、グローバル社会に対応できる人材を育てます。
- 学びの原点となる好奇心を大切に、「総合的な学習の時間」・「総合的な探究の時間」のプレゼン発表会の実施や全国規模のコンクール等にチャレンジすることで、探究心と科学的思考力を育成します。

## 「学力分野のリーディングハイスクール」指定校

- ◆ 週33時間(前期課程)・週35時間(後期課程)授業の実施  
授業時間の増加により、高度化した教育内容に余裕を持って対応することができ、学習内容の理解・定着が向上します。

## ICT機器の積極的導入

- ◆ CALL(語学学習支援)システム  
英語の「読む・聞く・話す」技能の向上を図り、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上を図っています。
- ◆ 電子黒板  
すべての教室に電子黒板やプロジェクターが設置され、アクティブでわかりやすく質の高い授業が行われています。





# 豊かな人間性



## 社会の発展に貢献できる人材を育成する

社会の発展に貢献しようという高い志を持ち、自分の夢を追いかける。  
仲間を大切にし、切磋琢磨する。

城ノ内はそのような生徒を育てたいと考えています。

そのためにボランティア活動を通して社会奉仕の精神や社会貢献への自覚を高めます。

また、自然体験や平和学習などの学校行事を通して、  
豊かな人間性を育てます。

### ○ 興味・関心を高める体験

城ノ内では、夏季休業中に「うっちーな体験塾」を開設しています。普段の授業では学べない、教科の枠を超えた体験を通して、さまざまな分野への興味・関心を高めていくことを目的としています。毎年、アイデアにあふれた講座が開設されています。



● 藍染め体験



● 三味線にチャレンジ



● 絵本作家になろう



● ギターで遊ぼう



● 大阪大学大学院工学研究科での講義



● 徳島文理大学薬学部体験

### 1・2年 [基礎期]

自己を知り、  
他者を知ることを通して  
寛容さや思いやりをもつとともに、  
自律した態度を身につける。

### ○ 地域の活動



● 地域と連携した避難訓練



● 炊き出し訓練



● ひのみね支援学校との交流

## ○ 幅広い年齢集団での学び

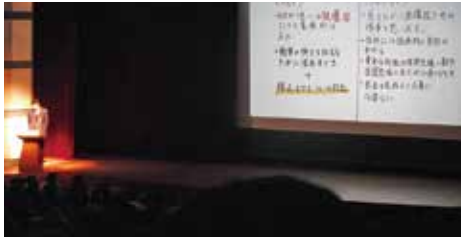
学年間の円滑な接続を図るため、学習面だけでなく学校行事や部活動等においても生徒の交流を積極的に行い、教員も6年間にわたり生徒を見守っています。



● 弓道部の練習風景



● 異年齢での学びの様子



● 総合学習発表会(教育会館)



● 城ノ内祭 開会式(吹奏楽部)



● 文化祭 演劇部による公演

## 3・4年 [充実期]

他者との関わりの中で互いを受容する力をつけ、向上心をもって自らの使命や社会での役割について考える。

## 5・6年 [発展期]

それぞれの興味・関心や特性を社会との繋がりの中で生かし、誠実さや感謝の心を社会への貢献にかえる。

## ○ 絆を深める体験活動

城ノ内では、学校の授業では味わえない学びや経験を通して、学年・ホームルームの絆を深めることを目指しています。自分たちで計画を立ててレクリエーションを行ったり、学びを校内で発表したりと、友達と協力して主体的に学ぶことができます。城ノ内生のかけがえのない思い出作りの場でもあります。



● 1年生宿泊研修(淡路島)



● 3年生スキー研修(北海道)



● 5年生修学旅行



● 2年生宿泊研修(広島)



● 4年生イングリッシュ・ツアー(県内)〈予定〉



● 6年生クラス体験活動





# 豊かな国際性



## 実践的な英語力を身につけ、豊かな表現力を育てる

本校は世界に通じるグローバル人材の育成をめざして様々な教育を行っています。広い視野を持ち、異文化の価値観を認めながら社会で活躍できるように国際理解教育を行っています。また、グローバル社会を生きる子どもたちにとって欠かせない英語力を身につけさせるため、城ノ内独自の取り組みを行っています。英語により自己表現し、プレゼンテーションができる生徒を育てることをめざしています。

### ○ 独自科目 「グローバル・イングリッシュ」

楽しく英語を学びながら、グローバルな視点から異文化を受け入れ学ぶ力を育成します。英語の歌や日常的な会話、スピーチ、プレゼンテーションなどコミュニケーション能力を伸ばす教育を展開しています。



### 1・2年 [基礎期]

郷土を愛し、  
ふるさとを知ることを  
基礎にして  
多様性を尊重する態度を身につける。



●CALL 教室での授業



### ○ CALLシステム

平成26年度より導入されたCALL教室では、より効果的な英語学習のため、チエルというシステムが導入されています。

個人の力に合わせた検定のような個人レッスンや、離れた席同士でのアトランダムなペア学習ができます。

## ○ 海外語学研修

3年生の希望者に海外語学研修(2週間)を実施しています。

令和元年度7月28日～8月9日 オーストラリア・ケアンズ

豊かな自然に恵まれた町で、親切なホストファミリーや現地校の生徒たちと交流し、充実した時間を過ごしました。



## 3・4年 [充実期]

多様な価値観と  
公平な目をもって世界を俯瞰し、  
正しく自らの意見を  
発信する力をつける。

## 5・6年 [発展期]

地球全体に目を向け、  
価値観の対立を克服し、  
より良い社会の実現のために  
責任ある行動をとる。

## ○ 即興型英語ディベート活動

昨年より本県初の本格的な「即興型英語ディベート活動」を開始し、他県の学校との練習試合を積み重ねながら、全国の各種大会、世界大会(韓国、香港)に出場しています。近い将来の世界大会上位入賞を目的に、6年間の継続したトレーニングを積み重ねています。

- 第5回  
PDA高校生即興型  
英語ディベート全国大会  
(令和元年度)



● デイベート活動

## ○ ヴィルヘルム・ラーベ中等教育学校との交流

平成31年2月、本校生は「世界に広げれ! とくしま“歓喜の歌”合唱団」に参加したドイツのニーダーザクセン州ヴィルヘルム・ラーベ校へ研修に行きました。

ドイツの歴史や文化を学んだり、日本の伝統文化を伝えたりする活動を通して、日独の交流を深めました。







# 豊かな創造性



## 科学技術に関心を持ち創造する力を養う

数学は、体系的な指導を重視しているため、前期課程では授業を「代数」と「幾何」に分けて行います。また、数学検定などに積極的に挑戦させ、子どもたちが達成感を持てるよう指導しています。理科の授業は、観察・実験などを多く行い、科学的な思考力・表現力の育成に力を入れています。そして、自分たちの力を試すために、全国コンクールに積極的にチャレンジしています。

### ○ 豊かな創造力は、ものづくりから

技術・家庭科におけるロボット製作、お弁当やアイデアバッグ作り等の「ものづくり」を通して、自分自身で考えたものを創り出し、形にしていく楽しさを実感しています。毎年、創意工夫をこらした作品で全国大会にチャレンジし、さまざまな賞を手にしています。

### 1・2年 [基礎期]

多様な体験から  
好奇心を育み、  
問題意識と論理的思考力をもって  
物事を判断する。

### 技術



● 創造アイデアロボットコンテスト  
日本産業技術教育学会 会長賞



● 木工チャレンジコンテスト  
厚生労働大臣賞

### 家庭科



● おべんとうコンクール



● 「生徒作品」コンクール  
全国市町村教育委員会連合会 会長賞



● 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール  
日本家庭科教育学会会長賞



## ○ 論理的な思考を育てる

人に自分の考えをうまく伝えられるよう、さまざまな場を設定しています。毎日の授業における班活動に加えて、授業の中でビブリオバトル(書評合戦)を行い、本の魅力がどうすればうまく伝えられるか試行錯誤しています。令和元年度には全国大会に出場し、たくさんの方々に本の魅力を伝えました。



●ビブリオバトル



## ○ 修学旅行フィールドワーク

修学旅行中のプログラムのひとつとして、大学・企業訪問、社会文化施設見学があります。自分たちの興味・関心や進路志望にそって行き先を決め、現地で聞き取り調査や体験活動を行います。内容は後日レポートにまとめ、進路についてより深く考える機会とします。また、この経験をもとに総合学習での研究テーマの選定に役立てます。



## 3・4年 [充実期]

それぞれの興味・関心をもとに主体的に考える力をもち、他者と協働する中で、折れない粘り強さで試行錯誤を繰り返す。

## 5・6年 [発展期]

体験や学びから得た知識を課題解決へと結びつけ、新しい価値を社会に発信する行動を起こす。

## ○ 科学的な思考を育てる

毎年、科学の甲子園ジュニアにチャレンジしています。平成30年度には県内で勝ち残り、1チームが全国大会に出場。全国からの出場者たちと戦い優良賞を受賞しました。

また、夏季休業中のうちのな体験塾でも、科学的思考を培うためにさまざまな講座が開かれています。



●科学の甲子園ジュニア

## ○ 課題研究・実践・発信

県内の高校をリードする立場で、「エシカル消費」推進研究に取り組み、外部団体と共にイベントを企画・実践したり、全国コンクール等で成果を発表したりしています。



●エシカル体験フィールドワークの企画・実践



●課題研究ポスターセッション



●Change Maker Awards 「私たち×SDGs」をテーマに英語でスピーチし、全国で「銅賞」を受賞



●徳島大学・ファーマーズマーケット参加

# 6年間の学習スタイル

## 充実した学習時間

前期課程：週33時間、後期課程：週35時間

## 英語・数学・理科に重点を置いたカリキュラム



6年間を2年間ずつ基礎期・充実期・発展期の3期に区分し、それぞれの発達段階に応じて重点の置き方を変え、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、応用力を養い充実した進路指導を行います。また、英語・数学・国語・理科の4教科については、3年生の2学期より後期課程の学習内容を一部移行(先取り学習)し、一貫性のある学習スタイルのもと計画的・継続的な指導を行います。週あたりの授業時数は、前期課程：週33時間、後期課程：週35時間です。

### 教育課程の概要

前期課程			後期課程		
1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
基礎期		充実期		発展期	
週33時間			週35時間		
前期課程3年分の学習(英・数・国・理)			後期課程の先取り学習(英・数・国・理)	単位制を生かした習熟度別授業の実施(英・数)	
○語学学習：前期課程において公立中学校の1.5倍以上の英語の授業時間を確保					
○進路学習：6年間一貫して将来の進路を考えるキャリア教育科目「未来設計」の設定					
○特別活動：リーダーシップや協調性を育成する異年齢集団による学校行事					

### 毎日の授業で勝負

=先生も生徒も、毎日の授業に「真剣勝負」で臨んでいます

生徒の皆さんにとっては、毎日の授業が一番大切です。本校では「学力向上検討委員会」を設け、よりよい授業・よりわかりやすい授業をめざし、さまざまな取り組みをしています。

#### その1

わかりやすい授業をめざして、研究授業や授業研究会を実施し、授業力アップを図っています。

#### その2

「学校総合評価」として、生徒が授業を受ける自分の態度をチェックすると同時に、すべての先生の授業を評価します。

### 習熟度別少人数授業

後期課程の先取り学習が始まる3年生の英語・数学の授業から「習熟度別少人数授業」を導入し、「わかる授業」の実践を通して意欲を高め、すべての生徒の学力を最大限に伸ばす指導をしっかりと行います。

### 進路希望をかなえるために、充実したガイダンス

学習実態調査、三者面談、学年別PTA、進路講演会、随時実施される個人面談、いろいろな機会・いろいろな形態で進路に関する疑問を解消し、自分の進路が決定できるようサポートしていきます。

### 放課後の充実した自主学習

自主学習のために、早朝や放課後、会議室・図書館・進学資料室を開放しています。図書館には、個人ブースが約40あり、また、6人がけのゆったりとした大きな学習机も、図書館いっぱいたくさん並んでいます。

進学資料室には、大学別の過去入試問題集や大学、短大、専門学校等の学校案内が揃いっぱいところせましと並び、休み時間や放課後などいつでも閲覧できます。



■図書館の個人ブース



■図書館の6人がけの机



■放課後の進学資料室



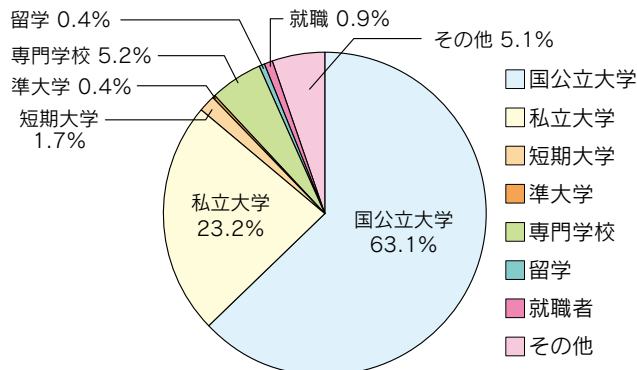
# 進路状況

	進 学											就 職			その他
	4年制大学			短期大学			準大学	専門学校	海外の 学校	計	公務員	一般企業	計		
	国立	公立	私立	国立	公立	私立									
卒業生	127	20	54	0	0	4	1	12	1	219	2	0	2	12	

## 合格状況 (過年度生を含む)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
東京大学	2			2	3
京都大学	1	3	2	1	1
北海道大学	1		1	2	3
東北大学					1
一橋大学					
東京工業大学			1		
名古屋大学	3	2	5	3	5
大阪大学	2		1	2	7
神戸大学	4	8	6	5	
九州大学	2	1		1	6
* 難関 10 大学	15	14	16	16	26
広島大学	7	6	4	2	10
岡山大学	7	16	13	9	7
(県内大学)					
徳島大学	49	58	48	45	49
鳴門教育大学	3	4	7	3	7
国公立全体	126	174	156	131	184
国公立大医学科	4	6	9	7	7
* 私立大医学科	1	1		3	
難関 10 大 + 医学科計	20	21	25	26	33
防衛医科大学					1
防衛大学		2	1	1	
文科省所管外大学等		2			1

## 令和元年度(R2年3月卒)卒業生<233名>の進路



年 度	H27	H28	H29	H30	R1
早稲田大学	5	5	4	2	8
慶應義塾大学		1	1		2
上智大学			2		
関西学院大学	19	13	10	10	10
関西大学	16	16	9	9	9
同志社大学	15	20	12	8	15
立命館大学	18	35	26	13	23
(県内大学)					
四国大学	24	32	36	24	20
徳島文理大学	33	23	29	31	29
私立大学全体	306	296	270	253	283

## 卒業生が語る城ノ内 (令和2年3月卒業生)



東京外国語大学  
言語文化学部  
言語文化学科  
坂 東 あかね  
11期生  
平成26年度中学校入学

城ノ内での6年間の思い出は、卒業した今もお鮮明で、私にとって大切な宝物です。

城ノ内は、勉強はもちろんのこと、部活動や校内行事にも力を入れており、入学してから卒業するまで充実した学生生活を送ることができます。海外語学研修や、CALLシステムなどを導入しており、英語力を伸ばすためにも非常に良い環境です。

様々なスキルや経験を持った、個性豊かな友人に囲まれて過ごす毎日は非常に刺激的です。私自身、入学時に英語を話せる友人に出会ったことが、自分の卒業後の進路決定につながりました。また、先生方も私たち生徒一人ひとりに真剣に向き合ってください、私たちの進路実現のために熱心に指導してください。

大学受験を見据えて、6年間計画的に勉強に取り組むことができる城ノ内は、意欲あふれる皆さんにとって魅力的な学校であると思います。城ノ内で、勉強も部活動も「自分超え」をして、夢や目標を友人や先生方と一緒に叶えませんか？



東京大学  
文科Ⅲ類  
廣 澤 孟  
11期生  
平成26年度中学校入学

中等教育学校の最大の特徴といえはやはり同じ学校で、同じメンバーと6年間過ごすということでしょう。私も城ノ内で6年間過ごしてきましたが、そこにはいくつか利点があるように思いました。まず初めに、高校受験を考える必要がなく他学の生徒と比べて自由に学習計画を立てることができるということです。高校受験対策に時間を苦手分野の克服に使うことで大学受験を視野に入れた学習を行うことができます。また、もちろんのことですが学校生活は勉強だけではありません。6年間かけて同級生と親睦を深めることもできますし、一部の部活動では1年生から6年生までが同じ場所で活動しており幅広い人間関係を築くこともできます。また、毎年多くの方が来校される学校祭は6年間のうちに自由展示や演劇、模擬店など様々な関わり方で楽しむことができます。

この様に私は城ノ内でもとても充実した学生生活を送ることができました。これから皆さんが経験するであろう城ノ内での6年間も素晴らしいものとなることを願っています。

私は城ノ内で6年間お世話になりました。生活面と学習面で充実した学生生活を過ごすことができたと思います。



徳島大学  
医学部 医学科  
来 島 空 良  
11期生  
平成26年度中学校入学

城ノ内には様々な学校行事があり、毎年9月に行われる城ノ内祭は中高合同で開催しているため、中学生と高校生が交流する場となっています。また、1年生での宿泊研修に始まり、2年生で広島研修、3・5年生で修学旅行、4年生で自然体験活動、6年生になると生徒が行き先を決めるクラス体験活動があり、楽しい学校生活を送ることができます。

学習面においては中学から先取り学習に励み、高校では夜遅くまで学校に残って受験勉強や面接練習をして、6年間を通して様々な先生方にご指導していただきました。進路などについて中学の時にお世話になった先生とお話しできることも一貫校の良さです。

今の状況下では様々なことに制限がかかっており、例年の学校行事や学習活動に変更があると思いますが、城ノ内で過ごす6年間は一生の思い出となるでしょう。

# 充実した学校生活

城ノ内生の一年

●4月 対面式



●4月 クラス体験活動



●5月 AED講習



●4月 入学式



●4月 宿泊研修



●5月 授業参観



●5月 宿泊研修



## 4月

始業式・入学式  
対面式  
宿泊研修〈淡路島〉(1年生)  
クラス体験活動(6年生)

## 5月

授業参観(PTA総会)  
防災避難訓練  
AED講習会(1年生)  
中間考査  
生徒総会  
宿泊研修〈広島〉(2年生)

## 6月

幼児ふれあい体験学習(3年生)  
水泳実習(1~3年生)  
修学旅行(5年生)

## 10月

中間考査  
学校公開

## 11月

三味線授業(1~3年生)  
校外体験活動(1年生)  
職場体験(2年生)  
生徒会役員選挙

## 12月

期末考査  
球技大会  
終業式

●11月 三味線授業



●11月 職場体験



●11月 職場体験



●11月 校外体験活動



●11月 職場体験



●12月 球技大会







●6月 幼児ふれあい 体験学習



●6月 修学旅行



●8月 うっちーな体験塾



●9月 文化祭



●6月 水泳実習



●7月 球技大会



●9月 体育祭

# 7月

期末考査  
球技大会  
終業式

# 8月

うっちーな体験塾(1~3年生)  
オープンキャンパス参加(4~6年生)  
海外語学研修  
始業式

# 9月

城ノ内祭  
〔前日祭・文化祭〕  
体育祭

城ノ内は  
ココ!



本校のイメージキャラクター  
うっちーな

# 1月

始業式  
予餞会

# 2月

阿波踊り講座(1~3年生)  
合唱コンクール(1~3年生)  
学年末考査

# 3月

卒業式(6年生)  
宿泊研修(北海道)(3年生)  
総合学習発表会  
人権教育映画会



●2月 阿波踊り講座



●3月 卒業式



●3月 宿泊研修



●1月 予餞会



●2月 合唱コンクール



●3月 宿泊研修



●3月 総合学習発表会



# 部活動を通じた 仲間づくり

県下から集まった仲間と共に部活動に励み、心身ともにたくましく成長する城ノ内生。1年生から6年生まで合同で練習している部もあり、それぞれのコンクールや大会での活躍がお互いの刺激となっています。

●フェンシング



●軟式野球



●バドミントン



## 運 動 部

1～3年  
前期課程

- 弓道
- バスケットボール
- 剣道
- 陸上競技
- サッカー
- 軟式野球
- テニス
- フェンシング

4～6年  
後期課程

- 弓道
- バスケットボール
- 剣道
- バドミントン
- 硬式野球
- バレーボール
- サッカー
- フェンシング
- テニス
- ラグビー
- 登山
- 陸上競技



●登山



●バスケットボール



●陸上競技



●剣道

●弓道



●サッカー



●テニス



●バレーボール



●書道



●百人一首



●華道



# 文化 部

1~3年  
前期課程

- 囲碁・将棋
- 英会話
- 演劇
- 吹奏楽
- パソコン
- 書道
- 美術
- 技術
- 百人一首

4~6年  
後期課程

- 囲碁・将棋
- 英会話
- 演劇
- 音楽
- 華道
- 茶道
- JRC
- 写真
- パソコン
- 書道
- 美術
- 文芸・放送
- レベラース
- 百人一首



● 囲碁・将棋

● 文芸・放送 (文芸)



● 文芸・放送 (放送)

● 美術



● 技術



● パソコン



● レベラース



● 茶道



● 演劇

● 英会話



● 音楽 (弦楽)



● 音楽 (吹奏楽)



# 城ノ内が分かる 7つのQ&A

1

## 中等教育学校に移行したことで、 どのような変化がありますか。

中等教育学校とは、中学校及び高等学校で行う教育を、一つの学校として6年間で一体的に行う学校のことです。中学校に相当する3年間で「前期課程」、高等学校に相当する3年間で「後期課程」といいます。また、今までの併設型中高一貫教育校では、中学校と高等学校で生徒募集を行っていましたが、中等教育学校では、生徒募集は前期課程でしか行わず、後期課程はありません。中等教育学校では、城ノ内中学校・高等学校で培われてきた教育を継承し、さらに発展させ、6年間を見据えた新たな教育課程でのきめ細やかな学習指導・教育活動を行います。



2

## 「学力分野のリーディングハイスクール事業」での 具体的な取組は何ですか。

本校は、2013年(平成25年)に、徳島県教育委員会から「学力分野のリーディングハイスクール事業」の指定を受け、中高一貫教育のメリットを最大限に生かして、進学面等において本県中等教育を牽引する学校づくりをめざし、次のような取組を行っています。

- ① 学習時間を充実させるために、前期課程では、週当たりの授業時数を33時間に増やしました。(各学年4時間増)
- ② 後期課程では、週当たりの授業時数を35時間に増やすとともに(各学年2時間増)、単位制を導入し、少人数による進路別・習熟度別授業を展開しています。
- ③ 英語・数学・理科・国語については、前期課程3年生の2学期より、後期課程の学習内容を一部移行(先取り)して学習しています。
- ④ グローバル人材の育成をめざし、新たな本校独自科目「グローバルイングリッシュ」を開設し、生きて使える英語学習を行うとともに、語学学習支援(CALL)システムを活用し、英語の4技能をバランスよく学びつつ、英語検定などにも積極的に挑戦しています。



3

## 「先取り学習」はどのように行うのですか。

学力分野のリーディングハイスクールとして、本校では、特に、外国語及び理数教育に力を入れています。このため、英語・数学・理科はもちろんのこと国語についても、学習指導要領に



定められた標準時間よりも多い時間を配当し、1年生より計画的に通常の進度に先んじて学習を進めます。前期課程3年生の1学期で前期課程の学習内容を終え、2学期からは後期課程の学習内容を先取りして指導します。特に、後期課程では、理科の必須科目が増え授業時数の確保が課題となっていますが、本校では、先取り学習により、ゆとりを持って各科目を学ぶことができます。



4

## 大学進学に対して、 どのような指導を行うのですか。

本校では、確かな学力の育成と進路希望の達成に全力で取り組んでいます。前期課程・後期課程の6年間を見通した切れ目のない組織的・計画的な指導のもと、生徒は高い目標を持ち、その実現に必要な学力が身に付くよう切磋琢磨しています。特に、後期課程では、難関大学への進学など、生徒一人ひとりの希望に応じた進路指導を行っており、具体的には、進路別の授業、小論文及び面接の指導、個別指導の充実など、きめ細やかな指導を展開しています。



5

## 城ノ内中等教育学校と他の私立中学校等を 併願(複数の学校を受験)することはできますか。

制度上は可能です。各学校にはそれぞれの教育方針や特色がありますので、よく研究し、自分に合った学校に進むことが大切です。



6

## 城ノ内中等教育学校の入学者選抜では、 中学校区ごとに入学者数の割り当てはあるのですか。 また、男女比は考慮されるのですか。

本校は、通学区域を県内全域としているため、入学者数を中学校区ごとに割り当てたり、徳島市内と市外からの入学者の比率を決めたりするなど、地域別に入学者数の制限を加えることはありません。また、男女別の定員も定めていません。



7

## 城ノ内中等教育学校の前期課程を修了した後、 他の高等学校に進学することはできますか。

城ノ内中等教育学校に在籍する生徒は、本校の6年間の中高一貫教育に魅力を感じて志願し入学したものと考えていますので、後期課程に進級することが原則です。ただし、一家転住など、他の高等学校にどうしても進学する必要がある場合には、他校を受験することは可能ですが、その時点で、城ノ内中等教育学校後期課程への進級はできなくなります。



# 令和3年度 徳島県立中等教育学校 生徒募集選抜実施要項

城ノ内中等教育学校概要

## 1 募集定員及び出願資格等

- (1) 募集定員 140名
- (2) 出願資格
  - ア 保護者の現住所が徳島県内にあり、令和3年3月に小学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校前期課程(以下「小学校」という。)を卒業又は修了する見込みの者
  - イ 特別な事情があり、徳島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)が出願を許可した者
- (3) 通学区域 県内全域

## 2 出願手続

- (1) 出願期間  
令和2年12月6日(日)から8日(火)まで  
なお、受付時間は午前9時から午後5時までとし、最終日に限り正午までとします。
- (2) 提出書類  
出願は、保護者が次の書類等を徳島県立城ノ内中等教育学校長に提出して、直接行うものとし、郵送の場合は、書留速達・親展で12月8日(火)正午必着です。
  - ア 入学願書
  - イ 受検票
  - ウ 調査書
  - エ 選抜結果通知用封筒
  - オ 連絡用封筒
- (3) 提出先  
徳島県立城ノ内中等教育学校  
〒770-0003 徳島市北田宮1丁目9番30号
- (4) 書類等の作成
  - ① 入学願書  
入学考査料として徳島県収入証紙(2,200円分)と、出願前3か月以内に撮影した志願者の顔写真(縦4cm×横3cm)を貼付してください。
  - ② 受検票  
入学願書に貼付したものと同一写真を貼付してください。
  - ③ 調査書  
在籍する小学校の校長(以下「小学校長」という。)が作成し、調査書用封筒に厳封したものを、開封せずに提出しなければなりません。
  - ④ 選抜結果通知用封筒  
選抜結果通知用封筒には、404円分の切手を貼付してください。  
県外の場合は、速達料金を含め、694円分の切手を貼付してください。
  - ⑤ 連絡用封筒(面接予定時間)  
連絡用封筒には、84円分の切手を貼付してください。
- (5) 受検票の交付  
出願書類等を受理した後、直ちに志願者に受検票を交付します。
- (6) 県外からの出願  
保護者と共に県内に転住することが明らかである場合など、特別な事情がある者は、出願に先立って、教育委員会の許可(入学志願許可書の交付)を受けなければなりません。

## 3 検査の実施

- (1) 実施日及び会場  
令和3年1月9日(土) 徳島県立城ノ内中等教育学校
- (2) 日程

受	付	8時30分～9時20分
点	呼・注	9時30分～9時45分
検	査 I	10時00分～10時45分 (45分間)
検	査 II	11時15分～12時05分 (50分間)
面	接	13時05分～



### (3) 検査内容及び方法

#### ① 適性検査

自己の考えや意見を表現する力や、課題を発見し、追究し、解決する力など、小学校教育において身に付けた多様な力をみるために、次の検査を行います。

検査Ⅰ	資料等から読み取った内容や情報をもとに、自己の考えをまとめ、文章等で表現する。
検査Ⅱ	生活に関連する事柄等について、課題を見だし、多様な解決方法を考え、その解決を図る。

#### ② 面接

志願者の目的意識、意欲や長所等をみるために、集団面接を行います。

## 4 選抜の方法

調査書、適性検査の成績及び面接の結果を資料として、志願者の意欲や適性等を総合的に判定し、選抜します。

## 5 選抜結果の通知

令和3年1月16日(土)に、受検者本人あてに郵送によって、選抜の結果を通知します。  
また、併せて受検者の在籍する小学校長にも通知します。

## 6 入学予定者の手続き

### (1) 入学確約書の提出

ア 入学予定者の保護者は、提出期間内に「入学確約書」を城ノ内中等教育学校長に直接提出しなければなりません。

イ 提出期間は、令和3年1月18日(月)から1月20日(水)までとします。

なお、受付時間は午前9時から午後5時までです。

### (2) その他

入学予定者が保護者の転勤等やむを得ない事情により、入学を辞退しようとする場合、その保護者は速やかに「入学辞退届」を城ノ内中等教育学校長に提出しなければなりません。

## 7 繰上合格者の決定

選抜結果の通知後に入学辞退者が生じた場合は、繰上合格候補者に入学の意思を確認した上で、繰上合格者を決定します。

## 8 適性検査の得点の開示

受検者は、選抜の結果について、徳島県個人情報保護条例(平成14年徳島県条例第43号)第26条第1項の規定に基づき、口頭による開示請求を行うことができます。

### (1) 受付期間・受付時間

受付期間は、令和3年1月18日(月)から2月17日(水)までとします。

ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く、平日の午前9時から午後5時までです。

### (2) 開示の内容

開示の対象となる個人情報の内容は、適性検査及び調査書の得点です。

### (3) 受付場所等

受検者本人が、受検票等の本人であることを確認できる書類を城ノ内中等教育学校に持参し、開示の請求をしてください。

※以上の内容について、詳しくは「令和3年度 徳島県立中学校及び徳島県立中等教育学校生徒募集選抜要項」をご覧ください。



# 徳島を思い 世界に羽ばたく



## ●お問い合わせ

### 徳島県立城ノ内中等教育学校

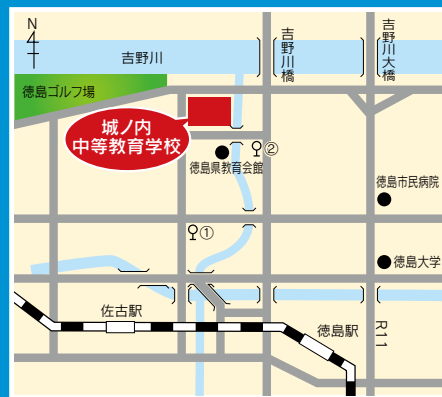
〒770-0003 徳島市北田宮1丁目9番30号

TEL:088-632-3711・3712

FAX:088-633-0126

U R L:<http://johnouchi-ss.tokushima-ec.ed.jp>

E-mail:[johnouchi\\_ss@mt.tokushima-ec.ed.jp](mailto:johnouchi_ss@mt.tokushima-ec.ed.jp)



#### 最寄りの交通機関

- 徳島市営バス①  
東田宮下車 徒歩10分
- 徳島バス②  
吉野橋下車 徒歩10分
- JR 佐古駅下車 徒歩20分